

# 鳥取縣公報

告 諭

昭和十五年十月一日  
號 外

火 曜 日

本書ノ大キサ國定規格A判

### ◇鳥取縣告諭

日獨伊三國協約締結成リ茲ニ畏クモ 大詔ヲ渙發アラセラレ國家國民ノ嚮フ所ヲ明示アラセラル  
 聖慮宏遠洵ニ恐懼感激ニ堪ヘサル所ナリ  
 内閣モ亦告諭ヲ發シテ本條約ノ本旨ヲ瞭カニシ併セテ帝國不動ノ方針ヲ述ヘ國民ノ毅然タル態度  
 ヲ要望セラル 安ゾ感奮興起セサルモノアラシヤ  
 惟フニ大東亞新秩序建設ノ基礎ヲ定メ延イテ世界ノ平和ヲ招來センコト固ヨリ我カ肇國ノ大精神  
 ニシテ聖戰ノ目的亦實ニ此ニ存ス  
 然ルニ昨秋歐洲ニ騷亂勃發シ其ノ戰禍ハ止マル所ヲ知ラス 今ヤ坤輿ヲ舉ケテ全ク其ノ渦中ニ投  
 セラレントスルノ状態ニ在リ 我國ノ前途苟シクモ倫安ヲ容サ、ルモノアリ  
 此ノ時ニ當リ偶々獨伊兩國ハ我國ト其ノ志向ヲ同シウシ各々東亞歐洲ノ地域ニ於テ新秩序ヲ建設  
 シ進ンテ世界平和ノ確立ニ協力セントスルノ目的ノ下ニ提携全ク成リ茲ニ光輝アル歴史ノ條約締  
 結ヲ見タルハ全世界人類ノ一大福祉ニシテ慶祝ニ堪ヘサル所ナリト雖之カ目的貫徹ハ前途遠遠ニシ  
 テ尙幾多難關ノ存スルヲ覺悟セサルヘカラス 誠ニ國家非常ノ時局タリ

全國民タルモノ須ラク 聖旨ヲ奉體シ益々國體觀念ヲ明徹ニシ銃前銃後ヲ舉ケテ奉公ノ誠ヲ輸シ一億一心大政翼贊ノ實ヲ舉ケ如何ナル難關ニ直面スルモ之ヲ突破スルノ氣魂ヲ堅持シ以テ 聖慮ニ答ヘ奉ラサルヘカラス

希クハ縣民各位克ク此ノ意ヲ體シ益々其ノ志行ヲ鞏固ニシ舉ツテ艱苦ニ堪ヘ小我ヲ棄テ、大我ヲ就キ專念時局ヲ克服シ誓ツテ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼シ奉ランコトヲ期セラルヘシ

右告諭ス

昭和十五年十月一日

鳥取縣知事

副

見

喬

雄

### 告示

#### ◆鳥取縣告示第七七十二號

賃金統制令第五條第一項ノ規定ニ依リ工場法ノ適用ヲ受クル工場ノ未經験勞働者(滿十二歲以上滿二十歲未滿ノ女子)ノ初給賃金ヲ左ノ如ク定メ昭和十五年十月一日以後ニ於テ雇入ル、者ニ付之ヲ適用ス

昭和十五年十月一日

鳥取縣知事

副

見

喬

雄

一 定額給制ノ場合ニ於テ一日ノ總就業時間(休憩時間ノ含ム以下之ニ同ジ)十時間以内ノトキニ於テ初給賃金ノ最高額、最低額及標準額左ノ如シ

滿十二歲以上滿十四歲未滿	最高六拾七錢	最低四拾錢	標準五拾五錢
滿十四歲以上滿十六歲未滿	最高七拾六錢	最低四拾四錢	標準六拾錢
滿十六歲以上滿十八歲未滿	最高八拾參錢	最低四拾七錢	標準六拾五錢
滿十八歲以上滿二十歲未滿	最高九拾錢	最低五拾錢	標準七拾錢

二 定額給制ノ場合ニ於テ一日ノ總就業時間十時間ヲ超ユル就業ニ對スル初給賃金ハ前號ノ最高額ニ十時間ヲ超ユル一時間毎ニ其ノ十分ノ一ニ相當スル額(一時間ニ滿タザル時間ニ對シテハ其ノ一時間ニ對スル割合ヲ前號ノ十分ノ一ニ乘ジタル額)ヲ加ヘタル額ヲ以テ最高額トス但シ錢位未滿ハ四捨五入スルモノトス

三 定額給制ノ場合ニ於テ事業主ノ都合ニ依ラズシテ一日ノ總就業時間ガ所定就業時間(休憩時間ヲ含ム)ニ滿タザル場合ハ其ノ日ノ就業ニ對スル初給賃金ハ第一號ノ最低額ヲ下ルコトヲ妨グズ

四 請負給制ノ場合ニ於ケル初給賃金ノ最高額又ハ最低額ハ月額ニ依リ、前三號ノ規定ニ準ジ稼働日毎ニ算出シタル最高額又ハ最低額ヲ合シタルモノヲ以テ毎月(賃金締切日ノ定アル場合ハ其ノ月ノ最終賃金締切日前一月但シ雇入後一ヶ月ニ滿タザルトキハ其ノ期間)ノ最高額又ハ最低額トス